

施策分析シート（令和元年度）

No1

施策名	国内・海外都市との交流の推進	施策No	09-02	部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課	課長名	谷井	内線	2520
-----	----------------	------	-------	-----	------------------	-----	----	----	------

関連部課名	総務企画部総務企画課								
-------	------------	--	--	--	--	--	--	--	--

行政評価 事業体系	分野	V	文化創造都市						
	政策	09	伝統文化の継承と都市間交流の推進						

目的 全国各地域の自治体と幅広い交流を進め、より豊かな区民生活の実現を目指すとともに、相互の都市の活性化を図る。
海外都市との国際的な交流を深め、多文化が共生する魅力あるまちを目指す。

指	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文	
		28年度	29年度	30年度		
①	地域への愛着	2.92	2.90	2.88	荒川区の文化や特色に愛着や誇りを感じますか？	
②	文化的寛容性	2.64	2.63	2.59	お住まいの地域に、文化や言語が異なる人々への思いやりや寛容さがあると感じますか？	
③						
④						

標	施策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		28年度	29年度	30年度	元年度見込み	目標値(8年度)	
①	国内交流都市ツアー参加者数(人)	98	91	150	100	150	H28年度より、国内交流都市ツアー開催。
②	国内交流都市との連携事業数(事業)	25	26	27	30	30	
③	通訳ボランティア登録数(人)	110	150	155	110	300	
④	海外都市交流事業参加者数(人)	301	305	310	310	320	パスハイク・華道・茶道・着付・料理教室、ウィーン派遣高校生等
⑤							

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目				行政収入	勘定科目			
	29年度	30年度	差額	29年度		30年度	差額		
費用	給与関係費	43,242	44,166	924	地方税	0	0	0	
	物件費	18,962	18,603	▲ 359	国庫支出金	7,490	8,443	953	
	維持補修費	0	0	0	都支支出金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	5,240	5,878	638	使用料及び手数料	0	0	0	
	減価償却費	0	0	0	その他	2,000	2,000	0	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	9,490	10,443	953	
	賞与・退職給与引当金繰入額	7,535	6,571	▲ 964	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 65,489	▲ 64,775	714	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	74,979	75,218	239	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 65,489	▲ 64,775	714	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 65,489	▲ 64,775	714		

貸借対照表	勘定科目				勘定科目	勘定科目			
	29年度	30年度	差額	29年度		30年度	差額		
流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	1,631	1,841	210	
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0	
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0	
固定資産	有形固定資産	0	0	0	賞与引当金	1,631	1,841	210	
	土地	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0	
	建物	0	0	0	固定負債	15,699	20,125	4,426	
	建物減価償却累計額	0	0	0	特別区債	0	0	0	
	工作物等	0	0	0	退職給与引当金	15,699	20,125	4,426	
	工作物等減価償却累計額	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0	
	無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	17,330	21,966	4,636	
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産	▲ 17,330	▲ 21,966	▲ 4,636	
	その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	▲ 17,330	▲ 21,966	▲ 4,636	
	資産の部合計	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	0	0	0	

財務諸表に関する特徴的事項等

○行政費用として、物件費及び補助費等の割合が高くなっている。内訳としては、国内及び海外交流都市との交流にかかる経費が多くを占めている。前年度と比較すると物件費の減少は、済州青少年国際フォーラム及びドルブル祭に出席しなかったためである。また、補助費の増加は、大連市中山区友好10周年事業として、大連市等の児童及び引率者550名を受け入れたためである。
○行政収入のその他については、特別区長会からの補助金となっている。

施策の現状・課題・今後の方向性

現状	<p>○区では、様々な縁や結び付きを契機として幅広い都市間交流を行っている。</p> <p>○海外都市とも、高校生相互派遣や日暮里ファッションショー、スポーツ大会の開催等、文化・スポーツ・教育など様々な面で交流を行っている。</p> <p>○現在もオーストリア共和国ウィーン市ドナウシュタット区、韓国済州市、中国大連市中山区の3都市と交流を行っている。</p>
課題	<p>○国内交流都市、特別区全国連携プロジェクトや幸せリーグ等を通じて、全国各地域の自治体との交流が増えてきた中で、お互いに有益な交流を深めていく必要がある。</p> <p>○東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契機として、海外からの旅行者等の増加が見込まれることから、日本人と外国人の相互理解を深めるとともに、区全体でおもてなしを実現するため、様々な分野における交流を拡大する必要がある。</p>
今後の方向性	<p>○区民が主体となった他自治体との交流を積極的に支援する。生活環境や地域文化の異なる地域との交流を深めることによって、我がまちへの愛着と誇りを醸成するとともに、豊かな自然と触れ合う場など様々な体験をする機会を提供し、豊かな区民生活の実現を図る。</p> <p>○「特別区全国連携プロジェクト」のつながりを活用し、区内でのイベント開催や地域住民相互の交流等を通じて、全国各地域と区内の産業振興や観光振興、地域の活性化等を推進する。</p> <p>○「幸せリーグ」における自治体職員同士の交流を促進し、共通する行政課題についての情報交換や先進事例を取り入れ、新たな施策の立案につなげ、区民サービスの一層の向上を図る。</p> <p>○友好都市や幸せリーグ加入自治体等と災害時相互応援協定を締結し、物資の提供にとどまらず、人の応援、被災者の受入など、様々な助け合いの関係を構築する。</p> <p>○区内のスポーツ団体、文化団体等が、イベント等を契機に他の自治体を訪問・交流することを通じて、それぞれの分野での技能や質の向上、団体や団体活動等の活性化を図る。</p> <p>○海外都市との交流を促進することによって、海外都市に対する区民の関心を高め、相互理解を深めるとともに、多文化共生意識を育み、世界に開かれた街としての荒川区の魅力や活力をより一層高める。</p>

施策の分類		分類についての説明・意見等
元年度	2年度	
重点的に推進	重点的に推進	国内外の交流都市の地域特性を活かし区民主体の幅広い交流を行うことに加え、区内在住外国人の支援や交流の充実を図る。

施策を構成する事務事業の分類								
事務事業名	事務事業 No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		29年度	30年度	29年度	30年度	元年度	2年度	
特別区全国連携プロジェクト	01-01-10	17,751	15,455	11,519	10,478	推進	推進	荒川区を含む東京、全国各地域の持続的な発展、住民の生活の質の維持・向上が期待できるため、推進する。
国内都市交流事業	05-01-03	20,429	24,010	6,613	8,283	重点的に推進	重点的に推進	生活環境や地域文化の異なる地域と交流することにより、まちの魅力と活力を高め、まちの魅力を向上させるため、重点的に推進する。
国際交流協会補助	05-01-04	14,383	15,559	4,274	4,713	重点的に推進	重点的に推進	区民主体の国際理解・交流の推進母体として支援することが必要であるため、重点的に推進する。
海外都市交流事業	05-01-05	22,415	20,194	13,430	12,602	重点的に推進	推進	国際理解や文化交流のために大きく貢献する事業であり、推進する。
合 計		74,978	75,218	35,836	36,076			